

キッズバスケット 3×3 ルール

(1) 競技内容

1チーム、プレーヤー3人からなる2つのチームが、一つのバスケットにボールをシュートして得点を競うハーフコートバスケット競技です。

(2) 競技者のチーム登録、ベンチ登録、プレーヤーについて

- ① 1チームの競技者の登録は何名でも可です。
- ② ベンチメンバーは、6人。ベンチメンバーは、1チームの競技者から試合毎に変更できます。
- ③ オン・ザ・コートは、3名とします。

(3) 勝敗

時間終了後、得点の多い方が勝ちとなります。

(4) ボール

5号のミニバスケット用合成皮ボールを大会側が用意します。

(5) 競技時間

- ① 競技時間は、5分の流しの前後半。
- ② ハーフタイムは1分。
- ③ タイムアウトの場合は、時間を止めます。

(6) 試合の開始

試合の開始は、チーム番号の若番から始めます。

(7) 選手の交代

自チーム、相手チームのタイムアウト時に、TOまたは審判に申し出てできます。

(8) 得点

- ① フィールドゴール(通常の場合)は、2点。
- ② ファールによる得点。(ファールの項目をご参照ください)
※3Pはありません。
- ③ 遅延行為があった場合。(遅延行為の項目をご参照ください)

(9) ファール

- ① ディフェンスのファール
ファールされたチームに1点が与えられます。
※攻撃権は変わらず、スタートラインから再開します。
- ② オフェンスのファール
ファールされたチームに1点を与え、攻撃権は変わります。
※攻撃権は変わり、スタートラインから再開します。
- ③ シュート動作中のファールでえカウントしたら3点、ノーゴールの場合は2点与えられます。
※攻撃権は変わり、スタートラインから再開します。
※フリースローを省略し、そのフリースローが得点されたとみなします。

(10) 遅延行為

試合の進行を遅らせろことを目的としたゲームコントロールの場合は、遅延行為で相手チームに2点を与え、相手チームから再開します。

※遅延行為の判断は、両チームのレベルなどを考慮したうえで審判の判断とします。
(目安として5～10秒以内)

(11) バイオレーション

本年度の競技規則に準じます。

ただし、下記についてはキッズルールを採用する。

- ①制限区域内での3秒ルールは適用しません。
- ②ショットクロックのルールは適用しません。
- ③その他については、選手、チームレベルに応じて、バイオレーションの基準を寛大にする場合もあります。(熊本県キッズバスケットボール規則をご参照ください)

(12) タイムアウト

- ①各チームとも前後半に1回ずつとれます。タイムアウトの時間は50秒とし(この時ブザーで合図して、審判はプレーの再開をベンチにうながします)、1分で再開します。
- ②タイムアウトの申請は、スタートラインにボールが戻る前までにTOまたは審判に申し出てください。
- ③タイムアウトのとき、ゲームクロックは止めます。
※タイムアウトがあったときは、両チームとも選手交代ができます。

(13) 攻守の交代

次の場合には攻守の交代となり、スタートラインよりプレーを再開します。

- ①ディフェンス側が、リバウンドを保持した場合。
- ②シュートにかかわるファールがおこった場合。
(シュートにかかわらない場合は、攻守の交代はありません)
- ③シュートが成功した場合。
- ④バイオレーションが起った場合。
- ⑤ヘルドボールになった場合。
- ⑥オフェンスボールをインターセプトし、ディフェンス側がボールを保持した場合。
※プレーが再開されるまでは、次の攻撃側以外のプレーヤーはボールに触れてはいけません。

(14) プレーの再開

プレーの再開は、タイムアウト以外はレフリーノータッチでスタートラインの外側よりスタートします。

- ①両足ともスタートラインの外側に接地してください。
- ②スタートラインの外側は、自由に動けます。(一般ルールのシュートが入ったあとのエンドラインスローと同じ考えです)
- ③スタートラインからの再開は、パスでもドリブルでもいいです。
- ④一旦スタートラインから中に入ったら、スタートラインはエンドラインとなります。
- ⑤スタートラインの外側には、ディフェンスは行けません。(スタートラインから中に入ったとは、一般ルールのバックパスルールと同じ考え方です)

(15) ユニホーム

チームで統一感のあるものを着用してください。濃淡の用意はいりません。

対抗するチーム同士が区別しにくいと審判が判断した場合には、どちらかがビブスを着用してください。(ビブスは、大会側で用意します)

※統一感があれば、背番号無しでもかまいません。

(16) その他

①レフリーに対しての暴言は、選手、コーチ、保護者、応援者などの関係のチームは、即、失格とします。失格となった場合は没収ゲームとして10対0とします。

※試合中以外(コートの外、ロビー、トイレなど)でもマナーが著しく悪い場合は、試合の参加資格を失いその後のゲームは全て没収ゲームとします。(マナーについては、熊本県キッズバスケットボール連盟のホームページの「マナー向上プロジェクト」をご参考ください。

②点数や進行に対して疑問のあるときは、チーム責任者がボールがスタートラインにある時に、オフィシャルを通じてレフリータイムを請求してください。

※レフリーの判断が出来かねる場合には、大会側で判断します。その時、ゲームクロックは止めます。

③試合中の審判の交代はありません。前後半で入れ替わります。

④ベンチは、チーム番号の若番がTO席に向かって右側とします。

⑤試合前のアップは、次の通りとします。

試合開始時間1分前→ベンチに戻ってください。

試合開始時間4分前→チーム番号の遅番がします。

試合開始時間7分前→チーム番号の若番がします。

それ以前→お互い仲良く練習してください。

※試合間が7分無い場合は、審判判断で時間を分け合ってください。

2018年10月

